

---

# スピークアップ窓口に関する 個人情報の取り扱いについて

## 1. はじめに

この文書は、ピジョン株式会社（以下「当社」）の内部通報窓口「スピークアップ窓口 通報・相談サイト」（以下「スピークアップ窓口」）における個人情報の取り扱いについて定めたものです。

スピークアップ窓口は、当社およびグループ会社（以下「ピジョングループ」）に影響を与える不正などの問題を事前に把握し、健全な経営を行うために設けられています。同時に当社では、スピークアップ窓口に寄せられた個人情報の保護に対して大きな関心を持ち、最大限、スピークアップ窓口での個人情報の保護に努めます。

## 2. 定義

「スピークアップ窓口」…本内部通報窓口

「法令等違反行為」…ピジョングループならびにピジョングループ社員および役員による法令等に違反する行為、ピジョングループが定める各種内部規程に違反する行為、その他ピジョングループの事業活動に関連し、重大なコンプライアンス違反もしくは社会から非難を受ける行為

「通報対象行為」…法令等違反行為またはその恐れが高いと考えられる行為

「通報」…ピジョングループならびにピジョングループ社員および役員による通報対象行為を知らせること

「相談」…通報に先立ちまたは通報に関連して必要な助言を受けること

「個人情報」...スピークアップ窓口に登録された通報に記載された情報であり、個人を特定することができる情報

「対象事案」...スピークアップ窓口に対して通報または相談が行われた通報対象行為についての事案

「通報者」...スピークアップ窓口において通報を行う者

「被通報者」...通報対象行為を行なった者として通報された者

「通報関係者」...通報内において言及された人物・組織

「データ管理者」...個人情報の取り扱いに主たる責任を持ち、その処理の方法や方針を決定するもの

「データ処理者」...データ管理者に代わって、データ管理者の指示のもと実際にデータを収集・保存・処理するもの

「センシティブデータ」...各國法における、第三者に知られた場合に個人の人格に重大な影響を与える可能性のある個人情報であって、人種または民族的な出自、政治的・宗教的・哲学的信条、労働組合への加盟、遺伝・生体情報、健康、性生活などを含む、各國が定める個人情報

### 3. 個人情報を取り扱う根拠法

スピークアップ窓口における個人情報の処理は、各國の定める個人情報保護法に準拠した上で、ピジョングループ内の不正行為等を調査・是正するための、データ管理者の正当な利益に基づきます。

### 4. 同意について

スピークアップ窓口を、氏名を明らかにして利用するためには、本文書記載の当社の個人情報保護方針に基づく自身の個人情報の処理に対する同意が必要です。

ただし、同意できないことを理由に氏名を明らかにしての通報を行わず、それによって当社等に何らかの悪影響があったとしても、その事実に基づく処罰や不利益取り扱いは一切ありません。

また、スピークアップ窓口は氏名等の個人情報を提供せず、匿名で利用することも可能です。

## 5. スピークアップ窓口の管轄組織

スピークアップ窓口を運用する当事者は以下の通りです。

### 5-1. スピークアップ窓口設置者

ピジョン株式会社

### 5-2. 管轄部門

ピジョン株式会社

法務部

住所：東京都中央区日本橋久松町4番4号

当社はデータ管理者として、スピークアップ窓口における個人情報の取り扱いについて責任を負い、その方針や保護施策を決定し、実行する立場となります。

当社法務部は、別紙に従い、スピークアップ窓口における個人情報を取扱います。

### 5-3. 運用者

株式会社ディー・クエスト

住所：東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館本店ビル

ディー・クエストはデータ処理者として、ピジョン株式会社の代わりにスピークアップ窓口のシステムを保守・運用し、翻訳などの処理を行います。

## 6. 個人情報の処理

### 6-1. 個人情報を処理する法的根拠

当社は不正等のコンプライアンスに反する行為を事前に察知し、これに迅速に対応することでピジョングループの健全な経営を行うという雇用者等の正当な利益として、各国の個人情報保護法に基づき、スピークアップ窓口における個人情報の収集を行います。

## 6－2. 個人情報処理の目的

スピークアップ窓口に登録された個人情報は、ピジョングループにおける不正等に対する社内調査を実行するために処理されます。また、各国当局の要請に基づき、報告等を行うために処理されることもあります。

## 6－3. 処理される個人情報の種類

スピークアップ窓口では、以下のような個人情報が扱われます。個人情報はスピークアップ窓口通報・相談サイト上でのみ収集・処理され、その他のツールや方法によって行われることはできません。

- 氏名
- 所属部署
- 職制
- 連絡先
- 所属会社
- 合理的に必要な場合のみ、センシティブデータ
- 被通報者の上記の情報
- 通報関係者の上記の情報
- その他通報で言及される可能性のある個人の情報

## 6－4. 処理の方法

スピークアップ窓口に寄せられた個人情報は、以下のような処理が行われます。

- 通報内容の日本語への翻訳
- 社内調査・共有時の仮名化
- 調査結果の報告書類作成

## 6－5. 処理が実施される場所

日本国において処理が実施されます。

## **6－6．処理期間**

対象事案の調査・対応の完了までに必要な範囲で合理的な期間、処理されます。

## **6－7．個人情報が越境される国**

個人情報は、当社本社が所在する日本国に越境されます。

# **7．個人情報の管理**

## **7－1．保存期間**

各国法の定める期間を超えない範囲において、対象事案の対応に必要で合理的な期間、個人情報は保存されます。

## **7－2．保存場所**

個人情報が保存されるサーバーは日本国に所在します。また、EU（欧州連合）および英国を含む欧州各国からの通報はフランス共和国のサーバーに、北米大陸・南米大陸の各国からの通報はアメリカ合衆国のサーバーに一次保存され、その後日本サーバーにも転送・保存されます。

## **7－3．個人情報の共有**

通報への調査のために、関係するグループ会社や、必要に応じて法務部以外の部署および社員、役員等に個人情報が共有されることがあります。

また、調査を目的として、顧問弁護士窓口担当者であるシティユーワ法律事務所担当弁護士に個人情報を開示することがあります。

## **7－4．個人情報の越境の目的**

個人情報は、当社の日本本社による対象事案の調査のために日本国へ越境されます。

また、日本国以外の国に情報が越境されることはなく、日本国から別の国へ移転されることもありません。

## 7－5．第三者への提供

スピークアップ窓口の個人情報は、原則として外部の企業等に譲渡・売却されることはありません。ただし、以下の場合には個人情報が外部に提供されることがあります。

- 各国当局の要請に基づく、裁判所など各国公的機関への提供
- 対象事案の調査のための、当社顧問弁護士や提携先法律事務所への提供

## 8．個人情報保護に関する権利

### 8－1．権利の一覧

スピークアップ窓口に関するすべての個人は、以下のような権利が法的に与えられています。

- 処理されている自身の個人情報にアクセスする権利
- 自身の情報に誤りがある場合、これを訂正・削除する権利
- 自身の情報の処理が重大な悪影響をもたらす場合に、これを削除する権利、もしくはその処理を制限・停止する権利
- 自身の情報を複製する権利
- 自身の情報の保護を要求する権利
- 個人情報の処理に異議を申し立てる権利
- 同意を撤回する権利
- 構造化された、一般的に使用され、読み取り可能な形式で自身の情報を受け取る権利、およびその情報を他のデータ管理者に転送する権利
- これら権利の行使によって差別されない権利

### 8－2．被通報者の権利の制限

通報者の個人情報を保護し、その心身への危険を予防するため、たとえ通報者が自身の身元を明かしていたとしても、被通報者は、通報内容や通報者の個人情報にアクセスすることはできません。また、自分が被通報者であるかどうかを確認することはできません。

### 8－3．権利の行使

上記の権利を行使する場合、スピークアップ窓口から、以下の各窓口担当者にご連絡ください。その際、13桁の「通報番号」をご記載ください。

- 監査役窓口に通報・相談された場合　監査役窓口
- 法務部窓口に通報・相談された場合　法務部窓口担当者
- 顧問弁護士窓口に通報・相談された場合　顧問弁護士窓口

各窓口担当者を通じて、別紙に従い、対応します。

その際、権利の行使に必要な個人情報を提供いただくことがあります、その個人情報の取り扱いもこの文書に準じます。

### 9．処理に関する望ましくない潜在的な結果や損害

スピークアップ窓口の利用にあたっては、十分にセキュリティや運用ルールを導入しておりますが、以下のような潜在的な望ましくない結果が発生する可能性があります。

- 災害や感染症による、事前の予告なしでの窓口の一時閉鎖
- システム障害によるアクセス不全
- ピジョングループやステークホルダー、社会に深刻な悪影響を及ぼす事案に関する、通報者の意図しない大規模調査や当局・報道機関等への事実開示（ただし個人情報は含みません）

### 10．COOKIEについて

スピークアップ窓口通報・相談 サイトではCookieが使われています。

Cookie とは、利用者の端末とサーバーとの間で交わされる少量のテキストデータのことです。スピークアップ窓口では、通信に必要なセッション ID のみを扱う必須 Cookie が使われており、この Cookie で収集された情報はセッションを超えて保存されることはありません。セッションの終了とともに、収集された Cookie は自動的に消去されます。

## 1 1 . 匿名での通報について

スピークアップ窓口では、匿名での通報が可能です。ただし、匿名による通報の場合には、十分な調査および再発防止策策定、実施等を目的として、所属および氏名の確認をスピークアップ窓口担当者より行うときがあります。

## 1 2 . 各国法への対応

スピークアップ窓口は、各国の個人情報保護法のほか、内部通報者を保護する法がある場合にはそうした法も遵守しています。

## 1 3 . この文書の変更について

この文書は予告なく変更されることがあります。変更後も引き続きスピークアップ窓口を利用いただいた場合は、変更された内容に同意したものとみなします。

## 1 4 . 更新情報

2024/10/1	初版発行
-----------	------

別紙

## 個人情報保護方針

当社は、妊娠、出産、子育てそして介護を通して手助けを必要とするすべての人々に対し、経営理念「愛」を具体的な商品またはソフトサービスの形で提供することを柱として事業を展開してまいりました。個人情報保護については、その重要性と社会性を認識し、「個人情報保護マネジメントシステムの要求事項（JISQ 15001）」に準拠させた当社個人情報保護マネジメントシステムを策定しております。当社は、役員・社員一同この個人情報保護マネジメントシステム並びに個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守し、以下の取り組みの実践を通して、個人情報の適切な保護に努めます。

- 1.お客様ご本人様及び当社従業者（以下「本人」といいます）の個人に関する情報（以下「個人情報」といいます）の取り扱い（取得、利用及び提供）について、その責任者を設置し、個人情報への不正アクセス、個人情報の漏洩、滅失または毀損の防止などの予防並びに是正について適切な管理を行います。
- 2.個人情報の利用目的を特定し、本人に対する当社窓口を明確にした上で、利用目的の範囲内で個人情報を収集し適切に取り扱います。
- 3.当社は、本人よりご提供いただいた個人情報を適切に管理し、本人のご承諾なくして当該個人情報の目的外利用及び第三者への提供または開示をいたしません。  
(但し、(1) 法令の規定による場合、(2) 本人または公衆の生命、健康、財産などの重大な利益を保護するために必要な場合、(3) その他法令により特に認められる場合を除きます。)
- 4.当社が上記3における本人の承諾等に基づき、当社が個人情報を提供する会社（メーカー、物流会社など）には、個人情報を漏洩または再提供しないよう、適切な管理を実施していただきます。
- 5.個人情報に関する苦情及び問い合わせの要請に対しては、誠実かつ迅速に対応いたします。
- 6.当社は、個人情報に関して適用される法令及び国が定める指針その他の規範を遵守いたします。
- 7.当社の個人情報保護マネジメントシステムは、取り組み実施にあたって適宜必要に応じて継続的改善に努めます。

## 開示対象個人情報に関する事項について

### 【開示等の請求先】

「8-3. 権利の行使」をご参照ください。

### 【開示等の求めに応じる手続】

#### 1. 本人確認と開示請求の受付

- (ア) 氏名と開示請求する内容および希望する回答方法を上記請求先へご連絡ください。
- (イ) ご本人と確認できる資料（マイナンバーの無い住民票の写し又は公的身分証明書等の写し、いずれも有効なもの）により本人確認いたします。
- (ウ) 代理人による申請のときは、上記（イ）に加えて、本人からの依頼書、代理人のマイナンバーの無い住民票の写しおよび公的身分証明書等の写し（いずれも有効なもの）により本人確認いたします。

#### 2. 開示請求内容の回答の通知

- (ア) 開示請求を受理した日の翌営業日から起算して5営業日以内を目安に回答を請求者本人が指定する方法で通知いたします。お送りいただいた住民票の写しおよび公的身分証明書等の写しは破棄、またはデータを削除いたします。ご指定いただいた通知方法の準備などで相当の時間が必要と思われる場合等につきましては、別途ご相談させていただく場合があります。

(イ) 次の場合は、開示対象個人情報の全部又は一部を開示できないことがあります。

- ・本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ・会社の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ・他の法令に違反することとなる場合

#### 3. 訂正請求への対処

- (ア) 開示した個人情報が事実でないという理由で訂正を請求されるときは、法令の規定による特別の手続きが定められている場合を除き、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき訂正を行います。

(イ) この結果は、訂正等を行った日又は訂正等を行わないと決定した日の翌営業日以内を目安に、結果を請求者本人が指定する方法にて通知いたします。

#### 4. ご登録内容の開示、修正および利用中止について

当社では、業務の適正な遂行を妨げない限りにおいて、ご本人の申し出により、個人情報をご本人に開示します。その場合、当社所定の方法によって本人確認を行わせていただきます。ご本人に開示した個人情報に事実と異なる内容があった場合、当社ではこれを直ちに修正します。またご本人から個人情報の利用停止のお申し入れがあった場合には、直ちにその利用を停止します。

##### 【費用について】

開示請求に関して実費相当額を別途、請求させていただくことがあります。

##### 【開示対象個人情報の取扱いに関する苦情の申し出先】

「8－3. 権利の行使」をご参照ください。

以上